

王様と私

The King and I

観賞日 2019・12・23

【概要】

制作 1956年 米 上映時間 特別編 145分
脚本 アーネスト・レーマン
監督 ウォルター・ラング
音楽 リチャード・ロジャース
撮影 レオン・シャムロイ
出演 ユル・ブリンナー (王)
デボラ・カー (アンナ・レオノーウェルズ)
リタ・モレノ (タプティム)



【あらすじ】

1862年シャム王国の都バンコク。未亡人アンナが一人息子のルイを伴ってイギリスからやって来る。アンナはシャム王から子供たちの家庭教師として招かれ、到着するなり王様と謁見する。アンナはそこでビルマからの貢ぎ物タプティムという娘を知り、王様から妻たち子供たちの紹介を受けその数の多さに驚く。

アンナから授業を受ける子供たちと妃たち。王様もその様子を見る。ある晩、アンナはチャン王妃から悩む王様を助けてほしいという相談を受ける。アンナはイギリス大使に西洋風のもてなしをすることを提案する。晩餐会当日、催しは成功し、その後アンナは王様とダンスをする。その時、恋人と駆け落ちしたタプティムが見つかり、怒った王はタプティムにむち打ちの刑を命じる。

アンナは野蛮な王様の態度に失望し帰国を決意する。帰国当日アンナの元にチャン王妃が現われて語ったことは？そしてアンナをシャムに留まらせたものは？

欧米列強の圧力に悩む国王と家庭教師として招かれたイギリスの未亡人。ブロードウェイのヒットミュージカルの映画化。ブロードウェイミュージカルでもシャム国王役を務めたユル・ブリンナーのはまり役。

【解説】

■ポイント

●制作経緯

マーガレット・ランドンの小説「アンナとシャム王」発表 (1944年)
ブロードウェイのミュージカル「王様と私」初演 (1951年)
本件映画化 (1956年)

●ラーマ4世

- ・1804年～1868年 (在位 1851年～1868年)
- ・「王様と私」のモデルとされている
欧米列強の東洋進出の頃のシャム王
英国人女性を家庭教師に招き、西洋との関係を強化、
清への朝貢をやめ冊封体制を廃止した
- ・アジア諸国で欧米列強の植民地にならなかったのは日本とタイの2国のみ

●受賞 (第29回アカデミー賞授賞・5部門)

主演男優賞、美術賞、衣装デザイン賞、作曲賞、録音賞

■見どころ

●当時の西洋文化と東洋文化の違い

●シャル・ウィ・ダンス

東洋風衣装の王様と西洋式ドレスを身に着けたアンナが踊る

